

学校だより みんなの森合小

～自分の考えをもつ力 人を大切にできる力 自分を表現する力 チャレンジする力～

NO. 12

令和6年3月8日

発行者

森合小学校長 渡邊かほる

ご参観ありがとうございました。

～第2回授業参観日・PTA総会・懇談会～

教室に入りきれないほど、たくさんの保護者の皆様にご参観くださいました。心より感謝いたします。さて、子供たちの様子は、いかがだったでしょうか。4月に行われた授業参観日と、今回の学年最後の参観日の姿には、大きな成長が見られたことと思います。1年間に、こんなにも成長するものかと、目を見張るものがあります。私たち、大人には考えられないほどの子供たちの1年間の学びの成果は、本当に素晴らしいです。

さて、PTA総会で、校長あいさつの中で、次のことをお伝えしました。

1、1年間の学校経営について

- 「すべての子供の学習権を保障する」ことを第一に掲げ、誰一人として取りこぼさない教育、そして「子供の伴走者」としての教育を目指してきたこと
- 「みんなの森合小」を創るという考えで、「森小デー・森小メンバー活動」を実施してきたこと
- 生活科・総合的な学習の時間を大切に、地域で中、地域の人とかかわる学びを推進したこと

2、次年度の学級編成について

- 教員免許をお持ちの方の紹介をお願いしたこと
 - ・ 講師・教員不足のため、新1・2・3年が4学級から3学級へ、新6年が3学級から2学級となる予定です。6年生だけでも3学級のままだけにしたいのですが、まだ教員が配置されていません。

さらに、PTA総会の質疑の中で、保護者から次のような要望がありました。

- 「宿題」や「通知表」を、無くすことを検討してほしい。特に宿題は、やらされている様子が多くみられ、一人一人の子供のためになっていないと感じている。貴重な小学校時代にしたい。
 - ・ ご意見をいただいたことに感謝いたします。実は「宿題」「通知表」の在り方について、先生方と考えを出し合い、改善しようとしていたところです。「みんな同じ」というこれまでの概念に捕らわれず「何のために」を大事にして、次年度に向けて、方向性をお示しいたします。



みんなの森小デー (1/16) 特別企画

「みんなで創る」という考えを実践するために、次の企画を実施しました。ご参加ありがとうございました。

1 講演会 9:30~10:15 コンピュータ室

演題「親子コミュニケーションのすすめ」

講師 奥山 修 氏 (ワソカリビ - ・デ ュカツヨ - ジ ャリ)

- 「7つの習慣」「リーダー・イン・ミー」の考え方について、私たち教職員が研修を受け、主体的に前向きに取り組む術を学んでいます。今回は、保護者を対象に「子供との対話の重要性」についての講話でした。

2 PTA理事会 10:30~11:30 ミーティングルーム2

- 数名の方が、参観に来てくださいました。

3 森小おしゃべり会 12:00~13:00 ミーティングルーム2

- PTA役員の方を中心に10名程度の方と、校長・教頭も参加して、楽しいお話をしました。

次年度も実施予定ですので、ふるってご参加ください。

自分で考えて、人知れず

実行している子供たち

地域の方や保護者から、感謝の電話や手紙が寄せられ、子供たちの行動に称賛の声が上がっています。

- 森小の高学年の子3名が、迷子になっていた娘を見つけ家を探して連れてきてくれました。
- 森小の子供が学校帰りに、高齢の母親が散歩途中で倒れていたところを見つけて、近くの大人に知らせてくれました。そのおかげで、すぐ救急車を呼び、大事に至らなかったそうです。

校内でも、汚れた窓をそのままにはしておけないと進んできれいにする姿、失敗したことを隠さず知らせて対応した姿、総合で学んだことを自分の言葉で伝える姿、昼休みの鼓笛練習に拍手をしながら応援する姿など、「自分で考えて行動する姿」がたくさん見られました。子供たちが、誇らしいです。